

(3) プログラム授業案
おもちゃを作ろう



教科との関連

国語・生活

※以下、授業案中の「よく使う日本語」は、小学校1・2年生で学習する漢字で表記してしています。

よく使う日本語

何をどうします。【動作】

はじめに～、つぎに～、さいごに～ 【順序】

基本的な流れ	指導のポイント
<p>1 先生のおもちゃ（ブンブンごま）の作り方を 見たり聞いたりして作る。 （聞く・読む活動）</p> <p>さいごに、ひもを あなに通してむすびます。</p> <p>つぎに、紙にあなを 二つ空けます。</p> <p>はじめに、紙を丸く切ります。</p>	<p>○厚紙・ひも・はさみ・きりを用意する。</p> <p>T: 「はじめに、紙を丸く切ります。」 T: 「つぎに、紙に穴を2つ空けます。」 T: 「さいごに、ひもを穴に通して結びます。」</p> <p>○説明は短冊に書いておくと、文を読む力と書く力につながる。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>※高学年以上は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半径5cmの円、2つの穴の間は1cm、ひもの長さは60cmなどと算数用語を使って説明する。 </div> <p>※四角形や長方形のこまも用意して質問してみる。 「円じゃなくて四角形だったら、どうでしょう。」 「どうすればもっとたくさん回るでしょう。」</p>
<p>2 自分でおもちゃを作り、作り方を話す。 （話す活動） ここでは例として、ぴよんぴよんかえるを作ります。</p> <p>「はじめに、牛乳パックを切ります。」</p> <p>「つぎに、4つの角を切ります。」</p> <p>「さいごに、ゴムをかけます。」</p>	<p>○作るおもちゃは、生活科の教科書などを参考に。簡単なものでよい。作り方の動画を見せるとよい。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>例として、ぴよんぴよんかえる、紙ひこうき、ストローひこうき、牛乳パックこま、紙コップけんだま、紙皿フリスビーなどがあります。</p> </div> <p>T: 「何を作りますか？」 S: 「ぴよんぴよんかえるを作ります。」 T: 「はじめに、（つぎに、さいごに、）何をしますか？」 S: 「はじめに、牛乳パックを切ります。」 S: 「つぎに、4つの角を切ります。」 S: 「さいごに、ゴムをかけます。」</p>
<p>3 自分で作ったおもちゃの作り方を書く。 （書く活動）</p> <p>さいごに、ゴムをかけます。</p> <p>つぎに、四つの角を切ります。</p> <p>はじめに、牛にゆうパックを切ります。</p>	<p>○短冊やワークシートにおもちゃの作り方を友達に分かるように順序よく書く。児童が作る様子を写真に撮っておくと、文を書きやすい。</p> <p>※手順が多い場合「それから」「こんどは」も使う。 ※おもちゃを2つ以上作って「どちらが速く動く、高く、遠くとぶ」などという日本語も使える。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>※高学年以上は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や準備するもの ・作り方とその絵、写真 ・遊び方 <p>なども加えて、段落も意識した作文形式で書かせる。</p> </div>

小2 国語「おもちゃの作り方」指導アイデア (<https://kyoiku.sho.jp/65358/>) を参考にしました。